北海道地域観光学会誌　第 10 巻第 2 号　2023 年

“坂道”を巡るアーバンツーリズムの実践

Practice of the Urban Tourism Pilgrimage to “SAKAMICHI”

伊藤 寛幸*
ITO, Hiroyuki
*北海商科大学

アイドルゆかりの地を訪れる「聖地巡礼」は、コンテンツツーリズムとして解釈され観光行動としても認識されている。観光客の誘引による経済波及としてその効果発現への期待も大きく、コンテンツツーリズムは、地域振興策のひとつとして有効な手段といえる。本稿では、乃木坂 46 に代表されるアイドル “坂道”シリーズゆかりの地の聖地化に関する地域情報のもと、アイドルゆかりの地を巡った紀行の紹介を目的とする。

キーワード：坂道、聖地巡礼、アーバンツーリズム

1　はじめに

東京は坂のまちである（注 1）。若者のまち渋谷の道玄坂、九段下交差点から靖国神社に至る九段坂、花街の情景を髣髴とさせる神楽坂、明治の文豪森鴎外の小説『雁』の舞台となった無縁坂など東京には著名な坂が存在する。それらの坂は、しばしば、アニメ、映画および文学の舞台となることがある（注 2）。一方、最近では、乃木坂 46 に代表されるアイドルグループのグループ名として特定の坂の名称が膾炙されている。そして、アイドルゆかりの地を訪れる行為は、アニメファンが作品の舞台を訪れる社会現象と同様に「聖地巡礼」（注 3）と称される。昨今の「聖地巡礼」は、広くコンテンツツーリズムとして解釈され観光行動としても認識されている（注 4）。観光客の誘引による経済波及としてその効果発現への期待も大きい（注 5）。すなわち、コンテンツツーリズムは、地域振興策のひとつとして有効な手段といえる。関連研究には村木（2012）、臺ほか（2018）などがある。コンテンツツーリズム関連研究は存在するが、アイドルを対象としたコンテンツツーリズム研究の文献数は、アニメ、文学および映画をテーマとした研究と比較して少数である（注 6）。一方、坂を対象に、調査、研究を目的とする団体には、坂学会がある（注 7）。坂学会の活動内容（注 8）は多岐にわたり、坂学会に関連するサイトも多数開設されている（注 9）。そのほか日本坂道学会がある（注 10）。これらには、本稿が対象とするアイドルグループに関連する坂巡りに関する記事も収録されていることから、坂学会および日本坂道学会によるデータを参考とした点は多い。一方、坂道巡りの Web サイトもブログを中心にインターネット上に多数確認することができる。ただし、本稿が対象とするアイドルグループをアーバンツーリズムとして一連の行程に位置づけた紀行を見つけ出すことはできなかった。

こうした背景をうけて、本稿では、乃木坂 46 に代表されるアイドル“坂道”シリーズゆかりの地の聖地化に関する地域情報のもと、アイドルゆかりの地を巡った紀行の紹介を目的とする。アイドルゆかりの地を直接訪問することで、地域の聖地化を体現し、えられたコンテンツデータの活用によって地域振興策の材料となるかなどを探りたい。なお、本稿で分析対象とする“坂道”

シリーズのアイドルとは、ソニー・ミュージックソリューションズ（n.d.）などを参考に、乃木坂46、櫻坂 46、日向坂 46 の 3 グループとする。データおよび情報は 2023 年 8 月 1 日現在とする。

表1　グループの基本情報（2023年8月1日現在）

グループ名	結成 改名時期	メンバー数	楽曲など	所属芸能事務所
乃木坂46	2011年 8月21日	38名	2012年2月、シングル「ぐるぐるカーテン」でデビュー。2012年5月、シングル「おいでシャンプー」で初のオリコンランキング1位を獲得。2015年の「第66回NHK紅白歌合戦」に初出場。	乃木坂46 合同会社
鳥居坂46	2015年 8月21日	29名	2016年4月、シングル「サイレントマジョリティー」でメジャーデビュー。2016年の「第67回 NHK紅白歌合戦」に初出場。	Seed & Flower 合同会社
欅坂46	2015年 8月21日			
櫻坂46	2020年 10月14日			
けやき坂46	2015年 11月30日	18名	「けやき坂46」から「日向坂46」への改名後の2019年3月、1stシングル「キュン」で単独デビュー。2019年の「第70回NHK紅白歌合戦」に初出場。	Seed & Flower 合同会社
日向坂46	2019年 2月11日			

注）メンバー数は、乃木坂46、櫻坂46、日向坂46のWebサイト（乃木坂46合同会社（n.d.）、Seed & Flower合同会社（n.d. a）、Seed & Flower合同会社（n.d. b））による。楽曲は、oricon ME（2019）、oricon ME（2020）、oricon ME（n.d.）などによる。

表2　グループ結成の経緯

乃木坂46	AKB48公式ライバルとして結成されたアイドルグループである。グループ名の「乃木坂」は、最終オーディション会場の「SME乃木坂ビル」に由来する。
櫻坂46	2015年8月21日、乃木坂46に続く「坂道シリーズ」第2弾グループとして「鳥居坂46」合格者が決定する。同日「鳥居坂46」から「欅坂46」への名称変更も発表される。その後、2020年10月12、13日の配信ライブをもって2015年からの約5年間の歴史に幕を下ろし、「櫻坂46」に改名、再スタートを切る。グループ名の「鳥居坂」は、乃木坂46がシングル発売ごとに開催する「アンダーライブ」の会場、ブルーシアター六本木に程近い場所にある坂から命名したとされている。なお、欅坂と櫻坂は港区に実在しないが、六本木ヒルズに「けやき坂」と「さくら坂」があり、東京・六本木ヒルズの「けやき坂」および並行する「さくら坂」が由来とされる。
日向坂46	櫻坂同様、「欅坂」の誕生に端を発する。2015年11月30日、漢字「欅坂」ではない、ひらがな「けやき坂」が新設され、長濱ねる1人メンバーによる「けやき坂46」が結成される。その後、2016年5月8日、オーディションにより選ばれた合格者と長濱ねるの12名で、「けやき坂46」の活動が始まる。さらに、2019年2月11日、「けやき坂46」は「日向坂46」に改名する。「ひなたざか」と読む「日向坂」は都内に実在しないが、「日向坂（ひゅうがざか）」は東京・港区の三田に存在する。

表3　関連する坂道の情報

グループ名	関連する坂	項目	情報
乃木坂46	乃木坂［写真5］	所在	東京都港区赤坂8丁目11番、9丁目6番の間
		説明	1912年、乃木希典将軍の葬儀と同時に幽霊坂という名前から乃木坂に改められた。
		別名	行合坂（ゆきあいざか）、なだれ坂（なだれざか）、幽霊坂（ゆうれいざか）、膝折坂（ひざおれざか）
鳥居坂46	鳥居坂［写真1］	所在	東京都港区六本木5丁目11番、5丁目12番の間
		説明	江戸時代のなかばまで、坂の東側に大名・鳥居家の屋敷があった。元禄年間（1688～1704）ごろ開かれた道である。
		別名	鳥井坂（とりいざか）
欅坂46	けやき坂［写真3］	所在	東京都港区六本木6丁目六本木ヒルズ内
		説明	2003年3月、六本木6丁目の再開発によりできた坂である。
		別名	－
櫻坂46	さくら坂［写真4］	所在	東京都港区六本木6丁目六本木ヒルズ内
		説明	2003年3月、六本木6丁目の再開によりできた坂である。
		別名	－
日向坂46	日向坂［写真8］	所在	東京都港区三田1丁目11番、2丁目1番の間
		説明	江戸時代前期、南側に徳山藩毛利日向守の屋敷があった。振袖坂ともいった。由来は不明である。誤ってひなた坂とも呼んだ。
		別名	ひなた坂（ひなたざか）、袖振坂（ふりそでざか）

注）原（2014）、港区（n.d.）による。

2　データと方法

2.1　坂に関するデータ

各グループの基本情報を表 1 に、グループ結成の経緯などを表 2 に示す（注 11）。

各グループの結成の経緯から、3 坂（乃木坂、さくら坂、日向坂）のほか関連する坂（鳥居坂、けやき坂）の存在がわかる。グループゆかりの 5 坂（注 12）に関連する情報を表 3 に示す。

5 坂いずれも港区内にあることで共通している。港区の坂の数は、東京 23 区のなかでも最も多く、江戸（時代）から明治期にかけて文学とのかかわりも深く、この点は、原（2014）によっても

確認することができる（注 13）。

2.2　ツーリズムの実践方法

①移動手段は「ちぃばす」（注 14）を利用する。各坂の最寄りの停留所で下車し、坂下もしくは坂上を起点とすることを基本とする。

②徒歩で移動し、到達した坂下もしくは坂上から折り返して起点に戻る往復の経路とする。

③坂下、坂上および途中に、見学場所がある場合には立ち寄ったうえで、観光資源としての可能性をさぐる。

④各坂の位置と港区コミュニティバスの運行ルートを鑑み、鳥居坂、けやき坂、さくら坂、乃木坂、日向坂の順に巡る。

3　結果

2023 年 8 月 2 日午後、坂道を巡るアーバンツーリズムを実践した。

前章で提示した 5 坂（鳥居坂、けやき坂、さくら坂、乃木坂、日向坂）を巡った行程を表 4 に示しツーリズムの結果を以下に記する。

鳥居坂には、ちぃばす田町ルート「停留所番号 : 14-2、停留所名称 : 鳥居坂下」にて下車し、坂下より坂上方面へ坂を上った。坂西側に公益財団法人国際文化会館、坂東側に東洋英和女学院中学部・高等部、東洋英和女学院大学大学院、港区麻布地区総合支所が建つ。その東洋英和女学院中学部・高等部の向かいに六本木ミュージアム［写真 2］（注 15）が立地する。アーバンツーリズムを実践した 2023 年 8 月 2 日は、『櫻坂 46 展「新せ界」』（注 16）の開催期間中であった。催事内容が櫻坂 46 にかかわる衣装、MV（ミュージックビデオ）、CD ジャケットなどに関わるクリエイティブかつ総括的な展覧会ということもあり、六本木ミュージアムを中心とする鳥居坂周辺は、櫻坂 46 ファンの聖地と化していた。平日にもかかわらず夏休み期間中ということもあり六本木ミュージアムへの入場者が絶えることはなかった。六本木ミュージアムは、地区への集客としての観光資源機能があるといえよう。その後、坂の起終点となる六本木５丁目交差点より、再び坂下方面へ坂を下った。

けやき坂には、ちぃばす田町ルート「停留所番号 : 15、停留所名称 : 六本木けやき坂」にて下車し、坂下より坂上方面へ坂を上った。森ビル株式会社による六本木地区の再開発によって造成された坂ゆえに、六本木ヒルズとして一体的な公共空間のなかにあることが実感できた。特に、けやき坂は、けやき坂通りとして地区（六本木ヒルズ）のメインストリートであり、市街地再開発プロジェクトを象徴する通りでもあることを体現した。その後、坂の起終点となるテレビ朝日通り交差点より、再び坂下方面へ坂を下った。

さくら坂は、欅坂 46 の由来となった六本木ヒルズ沿いのけやき坂の近くに並行する坂である。けやき坂の起終点となる環状三号線交差点より、さくら坂の起終点（坂下）に向かい、坂下から坂上方面へ坂を上った。けやき坂同様、森ビル株式会社による六本木地区の再開発によって造成された坂ゆえに、六本木ヒルズとして一体的な公共空間のなかにあった。六本木ヒルズのレジデンス棟など閑静な住宅街に隣接し桜並木が続く。沿道には、さくら坂公園があった。その後、坂の起終点となるけやき坂交差点より、再び坂下方面へ坂を下った。

表4　5坂を巡った行程

港区コミュニティバス ちぃばす		目的地	見学場所
停留所番号	最寄りの停留所名称		
14-2	鳥居坂下		
		鳥居坂	六本木ミュージアム
14-2	鳥居坂下		
	↓		
15	六本木けやき坂		
		さくら坂 けやき坂	六本木ヒルズ
32	六本木けやき坂		
	↓		
37	乃木坂駅入口		
		乃木坂	乃木神社
51	乃木公園		
	↓		
16	六本木ヒルズ		
32	六本木けやき坂		
	↓		
93.-2	二の橋		
		日向坂	

けやき坂およびさくら坂が位置する六本木ヒルズは、オフィス、レジデンスをはじめ、飲食店、ミュージアム、展望台、映画館のほかホテルを擁する複合コンパクトシティである。特に、森美術館、東京シティビュー（森タワー52 階の屋内展望台）は、2003 年の開業以降、東京のあらたな観光名所としての役割を担っているといえよう。

乃木坂には、ちぃばす赤坂ルート「停留所番号 : 37、停留所名称 : 乃木坂駅入口」にて下車し、坂上より坂下方面へ坂を下った。坂の途中に、乃木坂 46 の最終オーディションが行われた旧 SME 乃木坂ビル（現（2023 年 8 月 2 日現在）株式会社ジャニーズ事務所）［写真 6］が立地しており、乃木坂 46 のグループ名の由来にもなったビルとして、乃木坂のシンボル的建造物である。乃木坂の名称の由来が、明治（時代）の陸軍軍人乃木希典に因んでおり、100 余年の時間の経過を有していることから、乃木神社をはじめ、公園、地下鉄駅、バス停留所、さらには陸橋、隧道にいたるまで「乃木坂」の名を冠した多くの施設、構造物を、坂周辺で確認することができた。なかでも、メンバーによる初詣、新成人メンバーの成人式が執り行われる乃木神社［写真 7］は、乃木坂 46 のファンが集う、巡礼には欠くことができない最も著名な聖地のひとつといえよう。筆者が参拝した 2023 年 8 月 2 日の乃木神社には、若年層の参拝客の割合が多い印象をもった。乃木坂 46 のファンと推察された。乃木神社は、地区への集客としての観光資源機能があるといえよう。その後、赤坂通りを東進し港区赤坂 8 丁目 12 の乃木坂陸橋に至り、再び乃木神社方面を経由して坂を上った。

日向坂には、ちぃばす麻布西ルート「停留所番号 : 93-2、停留所名称 : ニノ橋」にて下車し、坂下より坂上方面へ坂を上った。坂北側には寺が建ち、南側には三田共用会議所やオーストラリア大使館がある。坂途中で立ち寄るに相応しい公共空間や商業施設などはなく閑静な邸宅街として

のロケーションを呈していた。そして、そのロケーション自体がすでに地域性を醸し出す空間でもあった。その後、坂の起終点となる神明坂および綱の手引き坂交差点より、再び坂下方面へ坂を下った。

5 坂を巡った結果、以下の含意をえた。すなわち、坂道単体で、観光の資源化を推進・実現することは、かなり困難であることからも、沿道および地区周辺の公共施設、公共空間および商業施設を利用した集客は、観光資源としての坂道を活かす戦略となりえる。さらに、坂道の観光資源化は、コミュニティバスの利用促進にもつながり“地域振興”の契機にもなろう。

4　おわりに

本稿では、乃木坂 46 に代表されるアイドル “坂道”シリーズゆかりの地の聖地化に関する地域情報のもと、アイドルゆかりの地を巡った紀行であった。アイドルへの憧憬として、時間と空間の共有化というファン心理から生まれる当該地の聖地化はすでに進んでいるなか、本稿によって以下の結果がえられた。

コミュニティバスを利用した街歩きの実現によって、アイドルを核としたコンテンツツーリズムの融合による、あらたな東京の旅（アーバンツーリズム）の提供の可能性を発見することができた。したがって、本稿でえた結果は、アイドルの聖地化に関するコンテンツデータ活用による地域振興策の検討材料となりえた。さらに、新型コロナウイルス感染収束の兆しが不透明ななか、コミュニティバス利用による“坂道”を巡るアーバンツーリズムは、地元港区住民にとってはマイクロツーリズムとしての一形態に値するともいえよう。

なお、今回のような紀行による情報の提供は、アイドル坂道グループのファン層へは有効であるが、その効用は限定的である点に留意が必要である。

今後は、アイドルゆかりの地である坂を巡る街歩きの旅が、一時のブームで終わることなく、アイドルコンテンツが地域資源としてとらえられ、多くの人々に広く受け入れられる方策を模索したい。

注

注 1）東京は日本でいちばん坂が多い都市とされており、名前がつけられた坂は 700 から 1,000 に達するともいわれている（酒井（2010））。

注 2）アニメ映画「君の名は。」（2016 年公開）で描かれた新宿区の須賀神社男坂、明治期初の女流作家樋口一葉が暮らし作品にもしばしば登場する文京区の本郷菊坂など、坂は時として東京の情景として作品の中心的象徴をなす。

注 3）「聖地巡礼」とは「宗教の創始者や聖人の誕生地・埋葬地のような生前関わりのあった場所、あるいは神や精霊といった存在と関わる場所への旅」とされてきた（岡本（2015））。

注 4）楠見ほか（2018）などによる。

注 5）後藤（2018）などによる。

注 6）Google scholar（2023 年 8 月 1 日現在）による検索で、「アニメ」と「コンテンツツーリズム」の双方をキーワードとした検索件数が 512 件であったのに対して、「アイドル」と「コンテンツツーリズム」の双方をキーワードとした検索件数は約 92 件にとどまっている。

注 7）学会の目的・規約、組織・事務局などについては Web ページ（http://www.sakagakkai.org/）

を参照されたい。

注 8）活動として、研究発表、寄稿、坂まつりなどのイベントがある（坂学会（2021））。

注 9）坂学会理事長が坂道ファンであることを扱った Twitter や Blog のほか、個人で開設しているサイトは、Web 上で多数確認できる。

注 10）会長の山野勝氏と、副会長のタレントのタモリこと森田一義氏の会員 2 名の学会である（タモリ（2022））。NHK の紀行番組「ぶらタモリ」など他のメディアを通して、タモリ氏が「坂道愛」を公言することで、坂道への注目が高まる契機となったといえよう。

注 11）結成および改名など、現在にいたる経緯については、インターネット上に諸説記されているが、本稿では、公式サイトを中心に、新聞雑誌などの報道アーカイブ（オリコン（2011）、MANTAN（2020 年）、産経デジタル（2015）、中日新聞社（2020）、日刊スポーツ（2015）、日刊スポーツ（2019））を参考にまとめた。

注 12）訪問対象情報を取得するにあたり、はじめに訪問対象としての坂に関する定義等を整理する。訪問対象である坂に関する既存の知見を整理することによって、訪問する際の空間的範囲と視座が明確になる。坂の定義は確定していないが、原ほか（2014）によれば、坂とは、「土地利用の一形態としての文化的景観を認識する一概念であり、自然が人の手で影響を受けた傾斜のある道路景観」と解釈できる。一方、日常においては、坂の範囲を明確に意識して通行することはなく、駅、交差点、建物の名称などにみられるように、地域を包括する汎称としてとらえられている場合が多く街並みの一部と考えることができよう。

注 13）原ほか（2014）によれば、坂数の多い上位 3 区は、港区（130 坂）、文京区（127 坂）、新宿区（111 坂）とある。さらに、江戸から東京へと続く旧東京 15 区を対象とした、歴史と地誌からのアプローチを試みた原ほか（2014）によっても、坂と文学とのかかわりを知ることができる。

注 14）「ちぃばす」は、株式会社フジエクスプレスが運行する港区コミュニティバスである。六本木ヒルズを中心に芝浦地区と赤坂地区を結ぶ 8 つのルートが運行されている（フジエクスプレス（n.d.））。

注 15）六本木ミュージアムは、東京都港区六本木 5 丁目 6−20 に位置する展覧会場である（ソニー・ミュージックエンタテインメント（n.d.））。

注 16）展覧会の開催期間は 2023 年 7 月 28 日から同年 10 月 29 日までの 3 か月である。館内には、図録、ポスターなど展覧会オリジナルのグッズを販売するショップのほか、櫻坂 46 の楽曲などをテーマとしたフード、ドリンクを提供するカフェ「坂 café」も併設されている（ソニー・ミュージックエンタテインメント（n.d.））。

【引用文献】

岡本亮輔（2015）「聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで」、中央公論社.

楠見孝・米田英嗣（2018）「“聖地巡礼”行動と作品への没入感：アニメ、ドラマ、映画、小説の比較調査」『コンテンツツーリズム学会論文集』5、pp.2-11.

後藤英之（2018）「コンテンツツーリズムにおける経済波及効果とサスティナビリティ」『商學討究』69（1）、pp.97-110.

酒井茂之（2010）『江戸・東京坂道ものがたり』、明治書院.

臺純子・幸田麻里子・崔錦珍（2018）「ファンツーリズムの基本的構造：アイドルファンへの聞き取り調査から」『立教大学観光学部紀要』20、pp.123-131.

タモリ（2022）『お江戸・東京 坂タモリ 港区編』、山野勝監修、ART NEXT.

原征男（2014）『東京の「坂」と文学: 文士が描いた「坂」探訪』、瀧山幸伸編著、彩流社.

村木伊織（2012）「アイドルコンテンツをきっかけとしたツーリズムに関する一考察」『北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院院生論集』8、pp.82-87.

【引用サイト】

MANTAN（2020）「櫻坂 46：平手友梨奈ら主要メンバーの旅立ち、欅坂 46 からの改名　“激動”の一年振り返る」（https://mantan-web.jp/article/20201229dog00m200027000c.html）［2023 年 8 月 1 日参照］.

oricon ME（2019）「ORICON NEWS＞乃木坂 46＞プロフィール」（https://www.oricon.co.jp/prof/556578/profile/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

oricon ME（2020）「ORICON NEWS＞櫻坂 46＞プロフィール」（https://www.oricon.co.jp/prof/779500/profile/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

oricon ME（n.d.）「ORICON NEWS＞日向坂 46＞作品シングル＞キュン（TYPE-A）」（https://www.oricon.co.jp/prof/713492/products/1314726/1/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

Seed ＆ Flower 合同会社（n.d. a）「欅坂 46 公式サイト」（https://www.keyakizaka46.com/s/k46o/?ima=0000）［2023 年 8 月 1 日参照］.

Seed ＆ Flower 合同会社（n.d. b）「櫻坂 46 公式サイト」（https://sakurazaka46.com/s/s46/news/list?ima=0000&dy=202307）［2023 年 8 月 1 日参照］.

オリコン（2011）「“AKB48 公式ライバル”乃木坂 46 結成 一般公募でメンバー決定」（https://www.oricon.co.jp/news/89336/full/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

坂学会（2021）「坂学会」（http://www.sakagakkai.org/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

産経デジタル（2015）「坂の名前が変わった！鳥居坂 46 改め「欅坂 46」です」（https://www.sanspo.com/article/20150822-UAHLXTB3DRNWXN7X6OVYUCPDLE/2/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

ソニー・ミュージックエンタテインメント（n.d.）「櫻坂 46 展「新せ界」」（https://sakurazaka-shinsekai.com/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

ソニー・ミュージックソリューションズ（n.d.）「坂道シリーズのトータルビジュアル制作」（https://www.sonymusicsolutions.co.jp/s/sms/group/detail/1113?ima=0000&link=ROBO004）［2023 年 8 月 1 日参照］.

中日新聞社（2020）「私たちは「櫻坂（さくらざか）46」になります！「欅坂 46」から改名、グループカラーは白で再スタート」（https://www.chunichi.co.jp/article/124371）［2023 年 8 月 1 日参照］.

日刊スポーツ（2015）「「鳥居坂 46」誕生へ　オーディションで 8・21 決定」（https://www.nikkansports.com/entertainment/akb48/news/1498827.html）［2023 年 8 月 1 日参照］.

日刊スポーツ（2019）「けやき坂 46 から電撃改名「日向坂 46」の由来とは」（https://www.nikkansports.com/entertainment/news/201902110000539.html）［2023 年 8 月 1 日参照］.

乃木坂 46 合同会社（n.d.）「乃木坂 46 公式サイト」（https://www.nogizaka46.com/）［2023 年 8 月 1 日参照］.

フジエクスプレス（n.d.）「ちぃばす」（http://www.fujiexpress.co.jp/chiibus/map/akasaka.html）［2023 年 8 月 1 日参照］.

港区（n.d.）「坂図鑑」（https://www.city.minato.tokyo.jp/kyouikucenter/kodomo/kids/machinami/saka/index.html）［2023 年 8 月 1 日参照］.

写真1　鳥居坂

写真2　六本木ミュージアム

写真3　けやき坂

写真4　さくら坂

写真5　乃木坂

写真6　旧SME乃木坂ビル

写真7　乃木神社

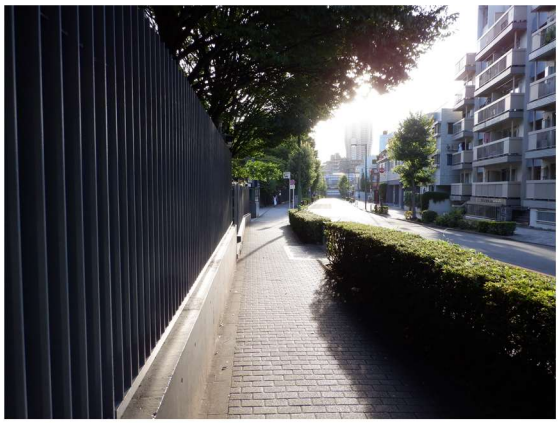

写真8　日向坂

（2023 年 8 月 10 日受理）